



呉市が生んだ日本近代洋画の巨匠・南薫造 「自然を映す」展の開催について

呉市が生んだ日本近代洋画の巨匠・南薫造(みなみ・くんぞう)。その生家とアトリエが、呉市安浦町で安浦町歴史民俗資料館(南薫造記念館)として一般公開されています。

■花を愛した南薫造が描いた花の絵や、植物、自然を描いた作品を展示します！

花を愛した南薫造は、その園芸熱も相当なもので、東京の自宅兼アトリエには薔薇やライラック、ランの花を育て、朝顔のアーチをしつらえていたそうです。郷里・安浦に疎開した後も、自宅の庭に牡丹や菖蒲を植え、丹精込めて育てました。

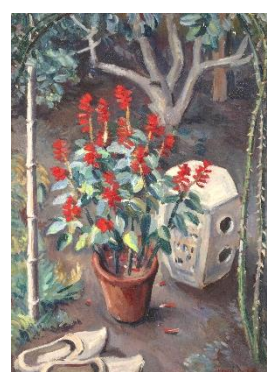
本展では、南が愛した花の絵を中心に、南が絵付けした陶器やガラス絵なども紹介します。



南薫造《牡丹》



南薫造《花》



南薫造《庭の一隅》

1. 会 期 令和元年12月19日(木)～令和2年5月31日(日)
2. 会 場 安浦町歴史民俗資料館(南薫造記念館)
3. 開館時間 9:00～16:30
4. 展示内容 南薫造 絵画 19点
陶器 4点
ガラス絵 3点
5. 観覧料 一般150円, 高校生90円, 小中学生60円

(呉市いきいきパス保持者、呉市及び広島中央地域連携中枢都市圏に在住または通学の高校生以下無料)